

西の子たより

龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校だより

令和8年3月24日

第9号

児童数：197名



～冬休みが明け、新年にむけて～ (修了式式辞より)

学年のしめくくりの日をむかえました。この一年間を振り返ってみましょう。

自分で「頑張った」と言えることは何でしょうか。自信をもって言える人は、来年も目標をもって続けてください。まだ見つからない人は、これから見つけていきましょう。

さて、この一年、私がくり返し伝えてきたことを覚えていますか。「いじめは、ぜったいに許さない」ということ。そして、「人の話は、だまって、最後まで聞く」ということです。これは、みんなが安心して過ごせる学校にするための、大切な約束です。

この一年、みなさんの生活を見てみると、「いじめはいけないよ」と声をかける人がいました。「大丈夫?」「手伝うよ」と思いやりをもって接する人がいました。「ごめんね」と素直に謝れる人がいました。うなずきながら、真剣に話を聞く人がいました。この一年で、みなさんは大きく成長しました。龍ヶ崎西小は、これまでよりもよい学校になっています。

学校のよさは、先生がつくるものではありません。みなさんの毎日の行動がつくります。冬休み明けに、私が「世界一きれいな学校にしたい」と言いました。それを聞いて、毎日ごみを拾い続けている人がいます。だれかに言われたからではありません。見ている人がいるからでもありません。自分で決めて、続けています。こういう行動が、学校を少しずつよくしていきます。

やさしい言葉。見て見ぬふりをしない勇氣。最後まで聞く姿勢。その一つ一つが、学校を形づくっています。

六年生は卒業しました。次に学校を支えていくのは、みなさんです。

五年生のみなさん。いよいよ、最高学年です。最高学年とは、よりよい学校をつくるために、行動を続けられる人のことです。下級生は、その姿を見ています。でも、これは五年生だけの話ではありません。どの学年も、だれかの手本になります。正しいことを、あたりまえに続けられる人が、学校をよりよくします。

私は、みなさん一人ひとりに、その力があると信じています。自信と少しの覚悟をもって、新しい学年へ進んでください。

今年度最終日を迎えて

あっという間に一年が過ぎ、令和7年度最後の日を迎えました。保護者や地域の皆様には、多大なるご支援をいただき心より感謝申し上げます。先日の卒業式では、4、5年生が感謝のメッセージや合唱で送り出し、6年生もこれまで自分たちを支えてくださった方々への思いを胸に、立派な態度で巣立ちました。

三寒四温の折、学校の桜も少しずつ花を咲かせ、確かな春の訪れを感じさせます。この一年、子供たちは、本日お渡しした通知表の所見に綴られた通り、日々の生活の中で、分からない問題が解けるようになっていたり、友達を思いやり優しい言葉をかけたりと、一人一人が学習や生活面において、それぞれの歩幅で着実に成長した姿が見られました。

4月からの新生活でも、さらに飛躍してくれることを願っています。来年度も、皆様と共に子供たちの成長を支えてまいります。一年間、本当にありがとうございました。